フローリストがご提案

暮らしの中で花が息づくために

連載 最終回

日常に花をとり入れることで、おうちで過ごす時間が楽しくなるようなアレンジを浦沢先生にご提案いただいたこのシリーズも今回が最終回。早春のまだ寒い時期に店頭を華やかに彩るハナナ「黒川寒咲花菜」とアレンジメントのグリーン素材に人気のブプレウルムをご紹介します。（編集部）

今回の花材

ハナナ「黒川寒咲花菜」、ブプレウルム

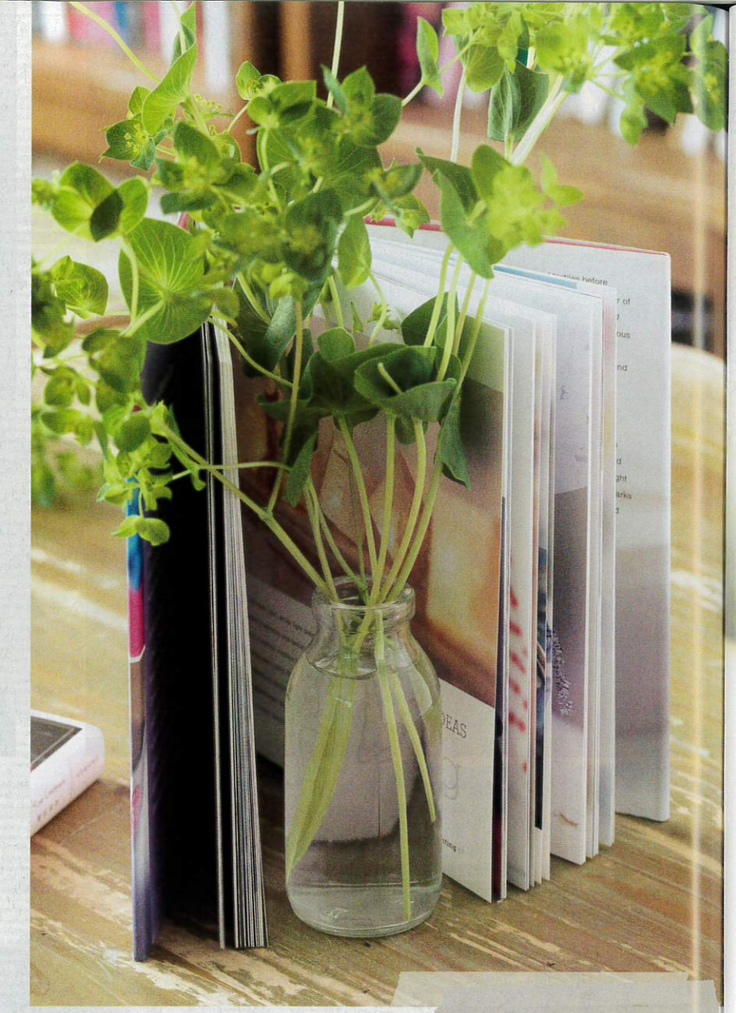
季節の花を楽しむ

桃の節句や菜の花漬。特に菜の花は身近に春を告げるお花ではないでしょうか。今回はハナナとブプレウルムを使って、日々の暮らしに楽しめる、ちょっとした花飾りのアイデアをご紹介したいと思います。

ハナナは蕾（つぼみ）もしっかりと咲いてくれて長もちします。飾っていると茎がニョキニョキと伸びて形が変化し、花が咲いてくると予想以上に甘い香りを放ちます。その様子は春いちばんの日差しのように明るく、元気をもらえます。

ブプレウルムの自由に動いているような茎は瑞々しい緑色で、フローリストとしては心惹かれる切り花です。一種生けで様になりますし、合わせ花材としても幅広い品種と寄り添いマッチします。しかも長もちするので、長期間、元気な姿で飾れます。一本でもボリュームがあり、切り分けると全体に広がります。案外華やかで、小さな花が愛おしくファンが多いのも納得です。

飾った後はドライフラワーにもなりやすいのでまた楽しめますので、一度、お試しいただけましたら幸いです。

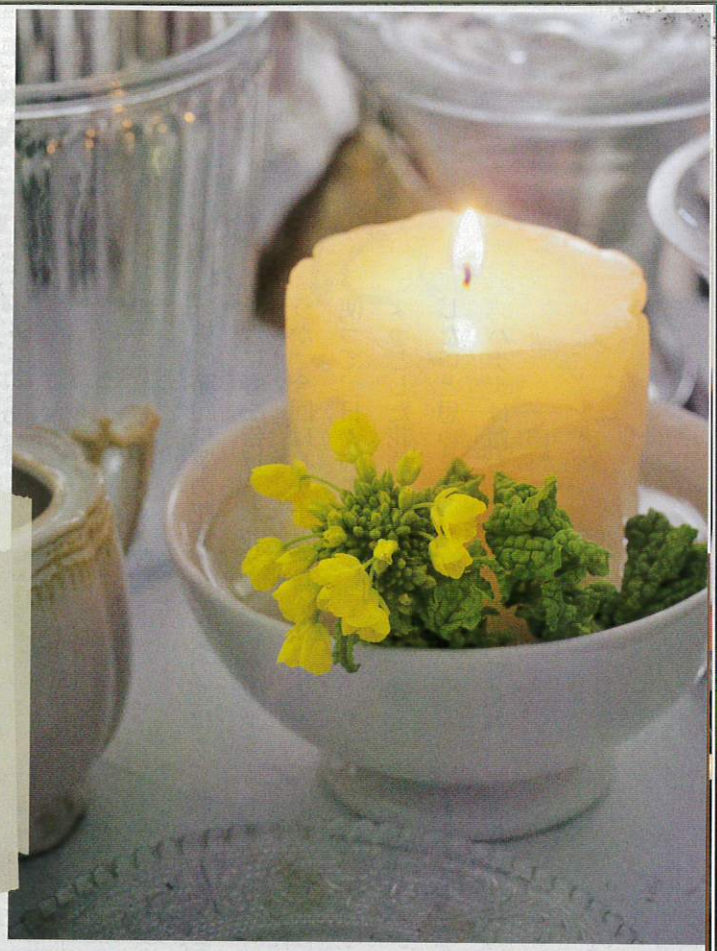


ハードカバーの本を広げ、その間に小さなドリンクの空き瓶に切り分けたブプレウルムを入れました。ちょっとしたアイデアでセンスのいいインテリアに。

リボンを結んでアレンジいろいろ

少し余った花材は、ジャムの空き瓶にリボンをつけて吊るして飾りました。

二重構造になっています。パンジーを中央の瓶に入れ、切り分けたブプレウルムを外側のぐるりに差し込んでいます。簡単に花を固定でき、花の分量が少なめでもボリュームが出ます。



器の真ん中にキャンドルを置き水を入れ、ハナナをカットして隙間に入れたテーブルのアレンジメント。キャンドルに火を灯すとやさしい食卓が演出されます。

テーブルに花を飾ると幸せが集まってくる

私は「花を暮らしに少し取り入れたらこんなに楽しい気持ちになった」という経験をたくさんの方々と共有したくて花の仕事に携わってきました。

「テーブルに花を飾ると幸せが集まってくる」。これからもこの言葉を胸に精進してまいります。長い間、連載にお付き合いくださり、ありがとうございました。

浦沢（うらさわ） 美奈（みな）
プーゼ　代表

フローリスト。1991年プーゼをオープン。京都市内に、フラワーアレンジメント教室を開講するアトリエプーゼを主宰しながら、雑誌などで幅広く活躍中。「テーブルに花を飾ると幸せが集まってくる」の言葉をテーマに、さまざまな花作品の発表を通じて花の楽しみ方を提案。著書に、「お花屋さんの花ノート」（文化出版局）、「ばらの本」（光村推古書院）、「京都の花屋プーゼの花日誌」（文化出版局）などがある。

プーゼ
https://www.pousse-kyoto.com

食卓を彩るテーブルコーディネート

ハナナの葉はとても美しいので、花の周りを切り分けた葉で囲んで小さなブーケにしてお皿の上に飾ります。食事が始まったら小さなコップに飾ってください。

※「暮らしの中で花が息づくために」は今回が最終回となります。長い間、ありがとうございました。